

平成 23 年度中野区職員震災図上訓練の実施結果について

1 訓練目的

平日の午後 3 時に、東京湾北部を震源域とする大規模地震（マグニチュード 7. 3、震度 6 弱）が発生したことを想定して、区災害対策本部の立上げから各職員の配置及び初期事態への迅速な対処について、確認・習熟することを目的とした。

2 実施日時

平成 24 年 1 月 28 日（土） 8 時 30 分から 12 時 30 分まで

3 会 場

中野区役所 7 階 第 2・5～10 会議室

4 参 加 者

(1) 区職員	105 名
(2) 中野警察署・野方警察署	2 名
(3) 中野消防署・野方消防署	2 名
(4) 支援委託事業者の社員	6 名
	計 115 名

【参加した区職員】

区長、副区長、教育長他の本部員、災対各部の部長・副部長、班長・副班長、災対指令部情報班職員（防災・都市安全分野職員、防災要員住宅入居職員）

5 訓練形式

ロールプレイング方式によるシナリオ非開示型の図上訓練

6 訓練結果及び今後の改善点

訓練結果のうち、良かった点としては、マニュアルに基づく業務分担や役割についてはよく理解されていたことや、参加職員の情報の収集等が積極的に行われホワイトボード等を活用した情報の整理もよくなされていたことがあげられる。改善を要する点としては、収集した情報に基づく状況判断や諸対応事項の確認が十分でなかったこと、災対各部間の情報の伝達・共有方法が十分でなかったこと、様式類について改善の必要があること等がある。

今回の訓練をとおして明らかになった課題等については、全庁的な検討を行ったうえ、今後の災害対策に反映していく。